

# 学習成果発表の場事業 発表者募集！

生涯学習センターであなたの「まなび」の成果を発表してみませんか？  
講座実現までのお手伝いは、当センタースタッフがいたします！

1 趣 旨	高松市生涯学習センター（以下、生涯学習センター）では、市民の皆様や市民グループ（法人及び団体を含む。以下同じ。）が、これまで培ってきた知識や技術の成果を生涯学習の分野で役立てていただくため、市民の皆様や市民グループが企画、立案する講座等の実施案を募集し、生涯学習センターが決定したものについて、実施するための支援をするものです。
2 開 催 日	開催日は調整の上決定いたします（原則として1回当たり2時間程度）。
3 応 募 資 格	この事業の趣旨に沿った講座を開催できる、18歳以上の個人又は市民グループ（ただし、直近の4年間で連続して「学習成果発表の場事業」を開催した市民や市民グループは除きます）。
4 募 集 期 間	令和6年4月2日（火）～6月30日（日）
5 開 催 経 費	発表者は生涯学習センターの施設を無料で使用できますが、謝礼金や交通費等は支給されません。受講生の受講料は無料としますが、材料費、資料費などが発生する場合は受講生の実費負担となります。
6 開 催 条 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 物品の販売・勧誘などの営利行為は禁止します。</li> <li>(2) 公序良俗に反する行為、政治的活動や宗教的活動又はこれらに類する内容の講座は認めません。</li> <li>(3) 受講者の氏名・住所等の個人情報提供は提供しません。</li> </ul>
7 支 援 内 容	講座開催場所の提供、打合せ用場所の提供（1回まで無料） 受講生募集に関する広報（チラシの作成や市の施設等への配架、広報高松等への掲載）
8 開 催 事 例	郷土の文化・歴史・方言講座、切り絵教室、アロマテラピー講座、水墨画教室など
9 応 募 方 法	所定の申込書に記入の上、下記あてに直接持参、郵送、FAX又はEメールのいずれかで申し込んでください。申込書は、生涯学習センターのホームページからもダウンロードできます。なお、御連絡いただければ、郵送いたします。
10 申 込 先	〒760-0040 高松市片原町11番地1 高松市生涯学習センター 「学習成果発表の場事業」担当あて 電話：087-811-6222 FAX：087-821-8022 Eメール：can@city.takamatsu.lg.jp



## ☞ 講座企画書の記入に当たって ☞

講座のねらい	自身が学んだことから何を得られたか、また、学ぶことで受講生に何を得てほしいのか。なぜ、その学んだことを広く他の方に伝えようと考えたか、講座開催の動機になる内容を記述されるとわかりやすい『ねらい』となります。
講師名	フルネームで記入してください。当センターの広報誌等に記載されます。なお、流派等により芸名等をお持ちの場合には、芸名等でも構いませんが、本名も必ずかっこ書きしてください。
講師肩書き	団体の一員として実施する場合は、必ず所属団体名及び団体内での役割を記入してください。
開催希望日	「広報高松」への掲載依頼等、事務処理上の都合により、申請より2か月以内の開催はできません。また、施設の空室状況等により、調整をお願いする場合があります。資料の準備時間等を考慮し、無理のない時期にしてください。
開催回数、1回当たりの所要時間	無理に1回に詰め込まず、複数回に分けても構いません。ねらいや内容に応じて、着地点にたどりつける時間数、開催回数を増減してください。
対象者	学んでほしい世代があれば、記入してください。なければ「一般」を選択してください。
受講人数	内容やカリキュラムに応じて計画してください。また、体験型講座を企画される場合には、講師が受講生全員を漏れなく公平にカバーできる範囲に留めてください。なお、受講人数は、その時の状況により相談の上、決定いたします。
使用材料	カリキュラムの中で使用する資料や用品類を記入してください。 例) はがき用紙、固形顔料、絵筆、水入れ、梅鉢、画集、参考作品●点など
材料費	(記入例) <u>1,000</u> 円 (内訳) 固形顔料@600、絵筆(太・細)@100×2本、はがき用紙@20×5枚、資料印刷代@10×4枚、題材となる具材@60
講座の内容	『ねらい』を達成するために必要なことを記入してください。 (記入例) 季節の御挨拶を絵手紙で挑戦♪
	① 絵手紙の魅力、材料の説明、工程の説明 ② 題材を決めて、構図を決める ③ 下絵を鉛筆で描く ④ 彩色の順番、色の重ね方、水の使い方、実践 ⑤ 全員の物を掲示して、意見交換、講師の講評
講師準備物	講師が持参するもの。例) 題材となる植物、野菜、花、見本となる画集など
受講生持参物	準備が容易、用途さえ満たせば何でも良いもの、自宅にありそうなものなど
センター準備物	プロジェクター、スクリーン、マイクなどの備品類。※PCはありません。
配布資料の有無	(学習のねらいや等を説明し、講座内容の補足や受講後も受講生が振り返れるもの) 有 ・ 無 (サイズ: A 版、 枚、その他: )